

# 出生届

令和〇〇年〇〇月〇〇日 届出

愛知県刈谷市長 殿

受理	令和 年 月 日	通知(送付)
第 〇 〇 号	第 〇 〇 号	第 〇 〇 号
書類調査	戸籍記載	記載調査
調査票	附	

生まれたお子様の氏名を記入してください。名で使用できる文字は「常用漢字、人名用漢字、カタカナ・ひらがな(変体仮名を除く)」「あ」「ゑ」「を」「ん」「エ」「ヲ」は、ひらがな・カタカナに含まれます。)、符号(長音の「ー」、繰り返しの「ゝ」「ゞ」「々」となります。詳しくは「子の名に使える漢字」(<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji86.html>)を確認してください。

(1) 生	(フリガナ) 子の氏名 <small>外国人のときはローマ字を付記してください</small>	かりや 氏 <b>刈谷</b>	はなたろう 名 <b>花太郎</b>	父母との続き柄 <input type="checkbox"/> 嫡出子 <input type="checkbox"/> 嫡出でない子	<input checked="" type="checkbox"/> 長男 <input type="checkbox"/> 二男 <input type="checkbox"/> 女
	(2) ま	生まれたとき	令和 〇〇 年 〇 月 〇 日	<input checked="" type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後	〇 時 〇 分
(3) れ	生まれたところ	<input checked="" type="checkbox"/> 出生証明書(10)欄「出生したところ」に同じ			
(4) 子	住所	<b>刈谷市東陽町1丁目1</b>		番地 <b>〇</b>	号
	<small>住民登録をするところ</small>	アパート・マンション等	<b>マンション刈谷103号</b>		
(5) 生	父母の氏名 生年月日	父 <b>刈谷 太郎</b>	母 <b>刈谷 花子</b>		
	<small>子が生まれたときの年齢</small>	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 〇年 〇月 〇日(満〇〇歳) <input type="checkbox"/> 西暦	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 〇年 〇月 〇日(満〇〇歳) <input type="checkbox"/> 西暦		
(6) れ	本籍 <small>外国人のときは国籍だけをかい</small>	<b>愛知県刈谷市東陽町1丁目1</b>		番地 <b>〇</b>	番
	筆頭者の氏名	<b>刈谷 太郎</b>			
(7) 子	同居を始めたとき	<input type="checkbox"/> 令和 <input checked="" type="checkbox"/> (平成) 〇〇年 〇〇月 <small>結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください</small>			
	子が生まれたときの世帯のおもな仕事と父母	<input type="checkbox"/> 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業者数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世界帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 <small>(国勢調査の年の4月1日から翌年3月31日までに子が生まれたときだけ書いてください)</small>			
(9)	父母の職業	父の職業	母の職業		
	その他				
届出人	<input checked="" type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 2. 法定代理人( ) <input type="checkbox"/> 3. 同居者 <input type="checkbox"/> 4. 医師 <input type="checkbox"/> 5. 助産師 <input type="checkbox"/> 6. その他の立会者 <input type="checkbox"/> 1. 母 <input type="checkbox"/> 7. 公設所の長				
	住所	<input checked="" type="checkbox"/> (4)に同じ		番地	号
	本籍	<input checked="" type="checkbox"/> (6)に同じ		番地 番	筆頭者の氏名 <input checked="" type="checkbox"/> (6)に同じ
	署名 <small>(※押印は任意)</small>	<b>刈谷 太郎</b>	印	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 〇年 〇月 〇日生 <input type="checkbox"/> 西暦	
事件簿番号		連絡先	電話 ( 〇〇 ) 〇〇 - 〇〇		

「嫡出子」とは婚姻関係にある父母から生まれた子どものことをいいます。  
 「嫡出でない子」は、生まれた子どもの父母の間に婚姻関係がない子のことをいいます。  
 続き柄は、父母にとって一番目の男の子なら「長男」となります。更に二番目の子が生まれた場合、この子が女の子であれば「二女」ではなく女の子としては一番目なので「長女」となります。  
 また、当該父母にとっての何番目であるかという続き柄なので、父にとって二番目の男の子であっても、当該母との間に初めて生まれた男の子であれば「長男」となります。

**嫡出子の場合**  
 [父母婚姻中の場合]  
 生まれた子の出生時の父母の本籍・筆頭者の氏名を記入してください。筆頭者の氏名は婚姻の際、夫の氏を選択された場合は父の氏名、妻の氏を選択された場合は母の氏名です。  
 [離婚後300日以内の場合]  
 父母が婚姻していたときの本籍・筆頭者の氏名を記入してください。  
 (離婚後300日以内に出生した子は、婚姻当時の父母の戸籍に入籍することになります)  
**嫡出でない子の場合**  
 [すでに母が筆頭者の場合]  
 母の本籍・筆頭者の氏名を記入してください。  
 [母が筆頭者ではない場合]  
 母につき新戸籍を編製しお子さまを入籍させます。本籍欄は母の現在の本籍・筆頭者の氏名を記入の上、「その他欄」に、新しい本籍(母子が入る戸籍)を記入してください。